

自分で作るおにぎり弁当の日

事業実施主体:今金町(北海道)

- 今金町では、地産地消の実践と地域への愛着を育むため、地域の生産者や各団体の協力のもと、「おにぎり体験学習」事業を推進している。
- 自分でおにぎりを作る事により、作ってくれる人に感謝の気持ちを持つ契機となり、将来弁当作りに取り組む意識啓発と技術の向上を図ることを目的とした取組を実施した。

北海道



【取組の内容】

○食に関する授業

- 【対象】 町内中学校1年生(29名)
【テーマ】 今金の食材を食べることの良さ知ろう

【目標】

- ・地産地消の良さについて知る
- ・地産地消を実践する気持ちを持つ

【食育に関する視点】

- ・食育の生産にかかわる人々や自然の恩恵に感謝の心を持つ(感謝の心)
- ・日常の食事は、地域の農林水産物と関連していることを知る(食文化)
- ・自分たちの住む地域には、昔から伝わる料理や行事にちなんだ料理があることを知る(食文化)



○おにぎり体験学習

上記授業の実施後、生徒が今金産米を使ったおにぎり作りを体験。



【取組の成果】

○食に関する授業では、日本と北海道の食料自給率について学ぶことで、地産地消について考えを深めることができた。

○おにぎり体験学習では、感染対策上、友達と楽しく話しながら握ることは難しかったが、一緒におにぎりを作る楽しさを実感し、意外と簡単に作れるという事に気づくことができた。また、自分で握ったおにぎりが、予想以上に美味しいとの意見が多数あった。

○普段何気なく食べているおにぎりを自分で作る事により、作ってくれている人への感謝の気持ちが生まれ、今後、家でも作りたいとの声もたくさん聞かれ、取り組む意識の高揚につながることができた。

今金町では、例年、中学校各学年の生徒を対象に「お弁当作り」に関する授業を実施しており、各生徒が将来に向けて弁当作りに取り組むことによって、意識の高揚と技術の向上を図る機会の必要性を再確認することができた。